

キャリア支援を考える 8 : 美術と生活・職業のデザイン

Kawakita, Takashi / 川喜多, 喬

(出版者 / Publisher)

教育新聞社

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

教育新聞 / 教育新聞

(号 / Number)

2570

(開始ページ / Start Page)

3

(終了ページ / End Page)

3

(発行年 / Year)

2005-09

キャリア支援を考える

法政大学にキャリアデザイン学部をつくった時、いくつもの誤解と攻撃を受けた。誤解の一つはアーチスト、デザイナー志望の高校生を入れたというもの。しかし「世の中は誤解によるのみ動いている」(ポードレール)のかもしれない。誤解はときに生産的である。美術の世界のデザインと、生活、職業のデザインとどこが違うのか。私が深く考え込むきっかけになったのが、このありがたい世間の誤解であった。

観・機能を示す図絵の意になった。素描、下絵という意味が出るのは比較的新しい。素描、下絵なしにいきなり傑作を書ける天才的アーチストは例外だろう。いや、高い評価を受けるアーチストですらデッサンには力を入れるのが普通。そしてデッサンは最終作品と違い、何枚も何十枚も棄ててまた描かれるのが普通である。

なものである。「仮説は建築の前にくみあげられる足場である。建築物ができあがったら取りはらうのだ。足場は作業者にとってなくてはならぬのだが、足場を建物と思いこんで

美術と生活・職業のデザイン

「サイン」とい言葉は signum (印) を語幹とするラテン語からイタリア語、フランス語、さらに17世紀に英語へ。当初は計画とか規定の意で、17世紀半ばからあるものの外

も何枚も何十枚も書かれてよいのである。人生のデッサンを描きながら書きいくのが人生で、ある時、「キャリアデザインブック」だの「キャリアデザインノート」だのに講師の指導で数時間で書きこんだものを「計画」に見立てて動かさないようなものがキャリアデザインではなからう。建物にも設計書や仮設の足場が必要だ。学問における仮設のよう

しまい、そのデザインをどっかかりにしてつくりあげるべき人生がもつ宏大な世界をなめてかかるとしたら本末転倒。企業家がビジネスプランやビジネスモデルに夢中になって実際の事業活動をなめてかかるといったもの。キャリアの目標をま

「とゲー」
デは言って
いる(箴言と省察)。
キャリアデ
ザインを教
室の机上で
描くのは
キャリアデ
ザインに
とってすら
一道具にすぎぬ。その
デザインに
魅惑されて
なわな。」「
だが、夢は必ずしもか
なわな。」「
だが、夢は必ずしもか
なわな。」「
だが、夢は必ずしもか
なわな。」「

法政大学キャリアデザイン学部教授 川喜多 喬

かかるといったものである。矛盾に耐える力が「生きる力」なのである。